

《病院理念》信頼される全人的医療

《基本方針》

- 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
- 患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
- 個人情報の保護に努めます
- 専門性と総合性をもつ診療を行います
- 地域に開かれた病院として貢献します
- 全人的医療が行える医療人を育てます
- 地域の特性を活かした研究を推進します



新年のごあいさつ

京都府立医科大学附属北部医療センター
病院長 中川 正法



新年、明けましておめでとうございます。

京都府立医科大学附属北部医療センターになって8回目の新年を迎えました。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応が大きな課題となっています。今年は延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催されるかも気になります。

北部医療センターでは、昨年2月から新型コロナ感染対策に全力で取り組んできました。皆様には、今後も「マスク着用・手指衛生・三密回避」など基本的な感染対策の継続をお願い致します。

また、面会禁止などで皆様にご不自由をお掛け致しますが、ご理解・ご協力の程をよろしくお願い致します。

北部医療センターでは、患者さんを中心とする全人的医療を目指して職員全員が一丸となって取り組んでおります。この7年間で、診療機器の整備、救急診療スペースの拡大、外来駐車場の拡充、産婦人科病棟に産産設備（LDR）の開設、医療相談・がん相談の充実、結核病棟の改修、認知症疾患医療センターの積極的運営等を行ってきました。そして昨年4月に「がん診療棟」が完成し、化学療法室の充実、PET-CT検査、放射線治療を開始しております。

また、今年3月には歯科口腔外科開設を予定しております。丹後医療圏におけるがん診断・治療のより一層の充実に努めて参ります。

教育・研究面では、北部の全公的病院が連携しての最新医療機器の合同研修・カンファレンスを実施、丹後地域を対象に健康長寿コホート研究、知の拠点を目指す大学院特別講義の開催など、大学附属病院として教育・研究にも力を入れて来ました。今後とも、専門性と総合性を備えた住民の皆様にも愛される地域中核病院として、更なる飛躍を目指したいと考えております。

当院の位置する丹後医療圏は、高齢化率35%以上でありわが国の超高齢社会を先取りしている地域です。丹後の特徴である「豊かな自然、豊かな人間性、長寿社会、緊密な組織間の連携」を活かして、心豊かに安心・安全に暮らせる地域社会を日本の未来を先取りする形で実現するために少しでも貢献したいと考えています。

今年は丑（うし）年です。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われていそうです。皆様と協力してコロナ禍を克服し、本年が笑顔多き年となることを心より祈念しております。

今年もよろしくお願い申し上げます。

令和3年 元旦

【第14号の内容】

- 1ページ ● 病院長新年のごあいさつ
- 2ページ ● 診療科紹介（呼吸器内科） ● 診療科紹介（神経内科） ● 発熱時の受診方法について
- 3ページ ● 放射線治療と看護について ● 病院募金（ご寄付）のお願い
- 4ページ ● 災害訓練・消防訓練について ● くすりの飲み方 食後・食前・食間？ ● 一口レシビ ● リレーエッセイ



〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371（代表）
<https://nmc.kpu-m.ac.jp/>

診療科紹介

—呼吸器内科—

呼吸器内科医長 大月 亮三



◆呼吸器内科疾患

呼吸器内科で扱う疾患はいろいろありますが、主なものから肺がんを挙げてみます。

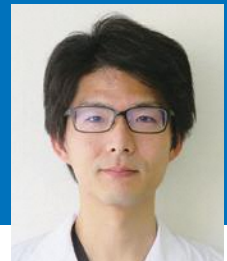
日本人の死亡原因は2018年の統計によりますと1位はがんに代表される悪性新生物、2位が心疾患、3位が老衰となっています。同じ年の部位別死亡者数をみると肺がんは男性では1位、女性でも2位となっています。部位別の罹患率を見ると男女ともに肺がんは4位にありますので、かかる人も多いうえに亡くなる率の高い病気であることがわかります。

この肺がんを見つけて治療するためには様々な検査を組み合わせます。胸部X線、胸部CT、PET、気管支内視鏡などです。これらの検査で手術が適している症例があれば手術できる施設に紹介します。手術が適していない症例の場合は抗癌剤による化学療法や放射線治療を行います。がん細胞を殺すいわば毒物を用いた治療に加えて、ノーベル賞を受賞された本庶先生の研究をもとに開発された免疫チェックポイント製剤を併用するようになってきました。

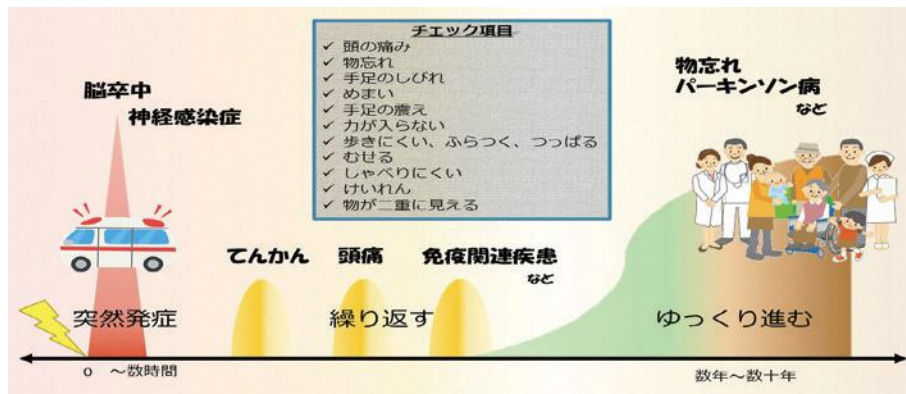
診療科紹介

—神経内科—

神経内科医長 小泉 崇



～ 神経内科は、頭から手足の先まで
いろいろな症状に対応しています ～



何かいつもと違う症状が急に出てきたら**迷わず直ぐ**に病院を受診しましょう。ゆっくりと進む病気も**早期対応が大切**です。気になる事があったらお気軽にご相談ください。

発熱時などの受診について

全国的に新型コロナウイルスへの感染が続いています。

発熱などの症状が出た場合は、必ず電話でかかりつけ医に相談をして受診をするようお願いいたします。

感染を防ぐために、人と接するときはマスクを着用し、石けんと流水で手洗いをしましょう。





放射線治療と看護について

診療部：正井範尚（医学物理士）、大下安彦（放射線技師）
看護部：坪倉洋子

放射線治療の目的は「放射線が細胞に障害を起こすことを利用し計画的に照射を行うことによって、がん細胞の活動（増殖）を止める」ことです。

当センターのリニアックは体の外から放射線をあて治療をします。健康な臓器などにたくさん放射線があたると、やはり副作用として障害が出てしまいます。その障害を減らし、がん細胞によりたくさんの放射線をあてるために、最近の治療計画では優れたコンピュータで放射線の量や方向を計算させ医師や医学物理士が最善策を見つけます。

実際の治療は、主に数週間続けて少しずつ放射線をあてます。このとき放射線技師は毎回しっかり放射線があたるように固定具や画像を用い精細に位置を決めます。

また、放射線の障害は健康なところで自然と回復し、がん細胞だけ増殖能力を奪うという特徴があります。時間はかかりますが、その代わりにメスによる傷はなく、基本的に臓器や器官を温存（残して）治療でき、その副作用も少ない利点があります。

さらに、放射線治療はご本人が仕事をしながら治療することもできます。

放射線治療が決定すれば、看護師が看護面談を行います。パンフレットを用い治療期間中の経過や注意事項を説明し、生活状況や要望、治療を進めていく上での不安などをお伺いし一人ひとりに合わせた予定を立てます。治療中は毎日患者さんの体調を確認し、心地よい環境に努めながら治療完了までサポートを行います。

放射線治療を受ける皆さんが抱えている不安や葛藤はとても大きいと思います。どのような些細なことでも気軽にご相談ください。

がん治療の選択肢が増えた北部医療センターが、がん治療のサポートをできれば幸いです。



病院募金（ご寄付）のお願い

北部医療センターでは、患者さんへのサービスの向上、高度医療の提供・北部医療センターの整備を目的とした募金の受付を行っています。

詳しくは当センターホームページや募金のお願いのリーフレットをご覧ください。

多くの皆様の御理解と御協力をお願いします。



詳細ホームページはこちらから

～ 災害訓練・消防訓練を行いました ～

災害等が発生した場合でも、病院機能を可能な限り維持しつつ早期に復旧し、院内内の全職員が協力して医療活動の継続と人命の救助ができるように、毎年、院内災害対応訓練と消防訓練を実施しています。今年10月29日（木）には、災害発生時に速やかに災害対策本部を立ち上げることを想定した災害対応訓練を行いました。また、12月2日（水）には、夜間にB3病棟において火災が発生したことを想定した消防訓練を行いました。



災害訓練の様子



消防訓練の様子

～ くすりの飲み方 食後・食前・食間？ ～

飲み薬をもらった時、飲み方が書いてありますよね。「食後」はご飯食べた後、「食前」はご飯食べる前、では「食間」は？。食間とはご飯とご飯の間です。

だいたい食後2時間後くらいを考えてください。食べ物と一緒にになると効き目が弱くなる薬などが「食間」になることが多いです。

決して食事の最中ではありませんよ。食後2時間くらいです。お間違えなく。



一回レシピ 「千枚漬け」

冬の季節にご家庭でも簡単に作れる千枚漬けをご紹介します。千枚漬けの語源は、かぶらを驚くほど薄く切って大樽に漬け込む枚数が千枚以上になると言われることから「千枚漬け」と言われています。

【材料】

- かぶら……………1.5kg
- 人参(飾り用)…200g
- ゆず(飾り用)…1個
- 出汁昆布……………6cm(細切)
- タカの爪……………1本

【合わせ調味料】

- 酢……………400cc
- 砂糖……………250g
- みりん……………80cc
- うす口醤油…40cc



【作り方】

- ① 合わせ調味料を鍋に入れ沸騰させて冷ます。
- ② かぶらの皮をむき 1/4 に切り、2 mm幅にスライスする。
- ③ 人参は花型に切り、1 mmにスライスする。
- ④ かぶら・人参ともに塩をして、その後塩抜きをして押しをする。
- ⑤ 冷ましておいた合わせ調味料に④のかぶら・人参と昆布、お好みでタカの爪を入れて完成です。

～ リレーエッセイ ～



「北部と私」

副病院長 落合登志哉

通算10年の北部生活で私がはまったもの、それは釣りである。

かつて竜飛岬でイカを釣り、それを餌に鯉等を釣った。所謂飲ませ釣りだが当地で同じくイカで鯛を、鰻でオコゼを釣ってその面白さが蘇った。

海に面した当地は同好の士も多く、放射線科のT先生は普段は血管造影検査の際120cm程のカテーテルの先端の「あたり」を細かい分枝血管挿入に繋がっているが、釣りでは数十m先の「あたり」を釣果に繋がっている。これって職業病！？

外来各科診察担当医表

(令和3年1月1日～)

診察室	診療科	月	火	水	木	金
11	総合診療科	横井大祐 助教(医長)	瑞慶覧聡太 助教(医師)	(第1,3,5) 石野秀岳 講師(副診療部長) (第2,4) 堅田和弘 講師(医長)	石野秀岳 講師(副診療部長)	横井大祐 助教(医長)
12	呼吸器内科	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)	高山浩一 教授(ほか)	大月亮三 助教(医長) 禁煙外来(第1,3 16:00~16:30) 事前に受診が必要です。 お問い合わせ願います。
13	消化器内科	春里暁人 助教(医長) (第2,4 午後) 高木智久 准教授	福居顕文 助教(医長)	竹谷祐崇 助教(副医長)	堅田和弘 講師(医長)	岡山哲也 助教(医長)
18			崔哲暢 医師			
14	循環器内科	藤田博 助教(担当部長)	瑞慶覧友香 助教(医師)	河崎貴宣 助教(医長)	大石将嗣 助教(医師)	波東大地 助教(副医長)
15	神経内科	(午前) 上田凌大 医師 (午後) 中川正法 教授(病院長) (第1 神経内科・再診) (第3 もの忘れ外来・予約)	小泉崇 助教(医長)	(第1,3 10:00~) 中川正法 教授(病院長) (もの忘れ外来・予約)	小泉崇 助教(医長)	中川正法 教授(病院長)
26	精神科	林田圭祐 助教(医師)	上村宏 准教授(医長)	上村宏 准教授(医長)	上村宏 准教授(医長)	林田圭祐 助教(医師)
23	小児科	1診 中川憲夫 助教(副医長)	中島久和 講師(医長)	(午前) 中島久和 講師(医長)	都間佑介 助教(副医長)	大内一孝 助教(医長)
		2診 (第2,4 午後) 井上聡 医師(予約)	(第1,2,4,5 午後) 千代延友裕 講師(予約)		(第1,3 午前) 栗原康通 講師(予約)	
18	外科	1診 竹本健一 助教(副医長)	越野勝博 講師(医長) (乳腺・新患)	當麻敦史 講師(医長)	越野勝博 講師(医長)	落合登志哉 准教授(副病院長)
		2診 住吉秀太郎 助教(医師)		中井理絵 助教(医師)	原田恭一 助教(副医長)	(第1,3) 林田恭子 部長 (第4) 青井重善 講師
22	整形外科	(第1,4 午前) 大久保直輝 助教(副医長) (第2 午前) 吉田隆司 講師(副診療部長) (第3,5 午前) 細井邦彦 助教(副医長) (午後) 岡田直也 助教(副医長)	細井邦彦 助教(副医長)	大久保直輝 助教(副医長)	吉田隆司 講師(副診療部長)	田中一哉 助教(医師)
		2診 (午前) 岡田直也 助教(副医長)			(第1,3,5 午前) 田中一哉 助教(医師) (第2,4 午前) 岡田直也 助教(副医長)	
17	脳神経外科	井上靖夫 部長(隔週) 大和田敬 医長(隔週)		府立医科大学医師	谷山市太 医長	笹島浩泰 病院教授
19	眼科	1診 加藤雄人 助教(医長)	小橋晃弘 助教(医師)	(第1,3,4,5) 小橋晃弘 助教(医師) (第2 午前)	1診 丸橋歩美 助教(医師) 2診 山下耀平 助教(医師)	加藤雄人 助教(医長)
		2診 山下耀平 助教(医師)		丸橋歩美 助教(医師)	(第2,4 角結膜・涙液外来) 横井則彦 病院教授	山下耀平 助教(医師)
20	産婦人科	1診 (産科) 青山幸平 助教(副医長)	辻哲朗 助教(医長)	山下優 助教(医師)	(第1,3,5) 青山幸平 助教(副医長) (第2,4) 渡邊亜矢 助教(医師)	渡邊亜矢 助教(医師)
		2診 (婦人科) 辻哲朗 助教(医長)	渡邊亜矢 助教(医師)	青山幸平 助教(副医長)	山下優 助教(医師)	黒星晴夫 講師(医長)
24	泌尿器科	石田博万 助教(医長)	冲原宏治 准教授(副病院長)	原田雄基 医師	石田博万 助教(医長)	冲原宏治 准教授(副病院長)
25	耳鼻咽喉科	1診 信原健二 助教(医長)	信原健二 助教(医長)	光田順一 医師	信原健二 助教(医長)	藤田朋己 助教(医長)
		2診 張里宇 助教(医師)	藤田朋己 助教(医長)		藤田朋己 助教(医長)	張里宇 助教(医師)
21	腎臓内科			(午後) 瀬野真文 医師		
	ペイン緩和ケア外来		(第2,4) 伊吹京秀 講師			
16	皮膚科	中川弘己 助教(医長) (予約のみ)	中川弘己 助教(医長)		中川弘己 助教(医長)	中川弘己 助教(医長)

●受付時間/再診(予約のある方)
午前8時30分から受付開始
初診・再診(予約のない方)
午前8時30分~11時
●閉診日/土・日曜日、祝日及び
年末年始(12月29日から1月3日)

医師異動情報

転出日	診療科名	職名	転出者	転入日	診療科名	職名	転入者
令和2年 12月31日	救急科	助教 (医長)	まきの 牧野 陽介	令和3年 1月1日	救急科	助教 (医長)	たけべ こうたろう 武部 弘太郎

病院の理念 信頼される全人的医療
京都府立医科大学の理念
世界トップレベルの医学を府民の医療へ

京都府立医科大学附属北部医療センター
(与謝の海病院) 病院長 中川正法
〒629-2261 京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話&FAX 0772-46-3371

京都府立医科大学附属北部医療センターに登録されている

「かかりつけ医」一覧表



「かかりつけ医」とは

少し体調が悪いときの診察や、普段の健康管理をしていただける地域の診療所やお医者さんのことです。お近くのかかりつけ医のほか、病院や福祉施設などとも連携を行っておりますので、専門的な検査・治療が必要な場合には、紹介を通して当院を受診していただくことができます。

宮津市（南部：市街地および周辺）

医療機関名	住所	電話番号
味見診療所	吉原	0772-22-5120
今出クリニック	柳縄手	0772-22-2767
岡所・泌尿器科医院	惣	0772-22-8511
佐藤医院	京街道	0772-22-2212
中川医院	漁師	0772-22-7565
中川内科・小児科クリニック	鶴賀	0772-20-3838
中村眼科医院	魚屋	0772-22-2049
浪江医院	宮村	0772-22-7211
西原医院	京街道	0772-22-4970
宮地医院	波路	0772-22-0580
宮津市由良診療所	由良	0772-26-9300
山根医院	鶴賀	0772-20-1541

宮津市（北部：府中・日置・養老）

府中診療所	江尻	0772-27-2577
日置診療所	日置	0772-27-1006
養老診療所	岩ヶ鼻	0772-28-0507

与謝野町（加悦）

伊藤内科医院	算所	0772-42-2426
岩破医院	算所	0772-42-2425
木村内科クリニック	後野	0772-43-2134
日置医院	加悦	0772-42-2653

与謝野町（野田川）

いわさく診療所	四辻	0772-42-3018
須川医院	下山田	0772-44-3070
鳥居クリニック	三河内	0772-44-1730
与謝野町国保診療所	石川	0772-42-3601

与謝野町（岩滝）

いとうクリニック	男山	0772-46-3553
大森内科診療所	弓木	0772-46-5632
やまぞえこどもクリニック	岩滝	0772-46-3028

伊根町

伊根町国保伊根診療所	日出	0772-32-0007
伊根町国保本庄診療所	本庄上	0772-33-0114

京丹後市（峰山町）

医療機関名	住所	電話番号
高田医院	杉谷	0772-62-5021
中江医院	白銀	0772-62-0266
新谷医院	杉谷	0772-62-0592
よしおかクリニック	新町	0772-69-5700

京丹後市（大宮町）

京丹後市国保直営大宮診療所	河辺	0772-68-0555
たんご協立診療所	河辺	0772-68-5017
ふじわらクリニック	周枳	0772-64-3834
とみた眼科皮フ科クリニック	周枳	0772-68-1220
安井医院	口大野	0772-68-0123
京丹後市国保直営五十河診療所	延利	0772-64-2066

京丹後市（網野町）

上田医院	網野	0772-72-0053
たちばな診療所	浜詰	0772-74-1301
山本医院	網野	0772-72-0081

京丹後市（丹後町）

京丹後市国保直営問人診療所	問人	0772-75-0210
村田内科医院	成願寺	0772-75-0253
京丹後市国保直営宇川診療所	久僧	0772-76-0210

京丹後市（弥栄町）

京丹後市国保直営野間診療所	野中	0772-66-0006
---------------	----	--------------

京丹後市（久美浜町）

京丹後市国保直営佐濃診療所	佐野	0772-84-0101
齊藤医院	浦明	0772-83-0365